

マウス・ラット尾静脈シミュレーター取扱説明書

【商品セット内容】

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 尾静脈シミュレーター | 1本 |
| 2. HUMANEWAY 実験動物用翼付採血・投与針 25G | 5本 |
| 3. ノンベベル針 | 2本 |

【使用方法】

●尾静脈内投与トレーニング

1. 尾静脈シミュレーター左右のチューブ先端にノンベベル針を装着する。
2. 左右どちらかのノンベベル針に模擬血液を調整したシリンジを連結し、チューブ内に模擬血液を流し込む。
3. 投与する液を調整したシリンジに HUMANEWAY 採血・投与針を連結する。
4. 左右どちらかの尾静脈内に針を刺入する。
5. 刺入後、シリンジの内筒を引いて逆血を確認したら投与する。
(模擬血液が流入しない場合は血管内に入っていないと判断する)

●尾静脈採血トレーニング

1. 尾静脈シミュレーター左右のチューブ先端にノンベベル針を装着する。
2. 左右どちらかのノンベベル針に模擬血液を調整したシリンジを連結し、チューブ内に模擬血液を流し込む。(模擬血液をチューブ内に流したら、シリンジはそのまま装着しておく)。
3. 反対側のチューブをクリップで固定する。
※繰返しの使用後に液漏れが気になる場合は、クリップ等で固定するのは避けてください。クリップ等で固定しなくても採血トレーニングに影響はありません。
4. HUMANEWAY 採血・投与針にヘマトクリット毛細管を連結する。
5. シリンジを装着している側の尾静脈に針を刺入する。
6. 刺入後にチューブ先端に装着しているシリンジの内筒をゆっくり押し出し、模擬血液を流し込む。
 - 1)ヘマトクリット毛細管内に模擬血液が流入すれば成功。
 - 2)ヘマトクリット毛細管内に模擬血液が流入しない場合は失敗(再度刺し直しする)。
※生体の場合は、針が血管に入ると血圧によって毛細管へ血液が流入します。

●トレーニング終了後のメンテナンス

1. シリンジに水道水を充填し、チューブ先端のノンベベル針に連結し、チューブ内の模擬血液を洗浄する(複数回、同様の操作を行うこと)。
2. チューブ内洗浄後、空のシリンジを用いて模擬血管内(チューブ内)に空気を送り込み水抜きする(複数回、同様の操作を行うこと)。

3. 最後に、使用したノンベベル針も洗浄しておくこと。

【注意事項】

1. 尻尾シミュレーター中心に尾骨（白）があることから、極端に折り曲げないこと（変形してしまう可能性があるため）。
2. 何度もチューブ内に針を刺入した場合、チューブ内に圧力をかけると液が漏れる場合がある（生体も何度も針を刺入した場合、血液および投与液が漏れることがあることから、生体と同様である）。
3. 付属品である HUMANEWAY 翼付採血・投与針)はトレーニング用なので、生体には使用しないでください。
4. 本製品は、繰返し使用できますが、使用頻度によりチューブの液漏れが修復できなくなることがあります。
5. 採血のトレーニング時に使用するヘマトクリット毛細管は、お客様で準備してください。
6. トレーニング終了後のチューブ内のメンテナンスを行わない場合、模擬血液で使用した液がチューブ内に付着し詰まる可能性があります（次回使用できなくなる場合があります）。

【マウス尻尾シミュレーター材質】

1. 尻尾（本体）・・・・・・・・ シリコン
2. チューブ・・・・・・・・ シリコン
3. 骨・・・・・・・・・・・・ ポリスチレン
4. コネクタ・・・・・・・・ ナイロン